



富士見産木材で木馬づくり

「八ヶ岳南の学校」

〈代表〉関先生に伺いました

「八ヶ岳南の学校」とは？

諏訪養護学校の先生や元先生、よっちゃばり、味の会など地域の皆さんと連携し、卒業生たちの自立を支援する活動をしています。昨年の秋、知的障害者教育の先駆者田村一二さんの作品展、映画上映会の開催をきっかけにスタートしました。

この学校をつくらうと思ったきっかけは？

諏訪養護学校の卒業生で職してしまった人などから相談を受ける中で、彼らの活動の場が必要だと感じたことからです。

どのような活動をしていますか？

近くに畑を借り、大豆をつ

くって味噌にしたり、ひまわりの油を搾ったり、富士見の間伐材を使って椅子や木馬などの木工製品を作り、道の駅などに販売しています。正月の門松は、材料をすべて富士見産のものを使って作り、地元の人たちにも好評で完売しました。頼まれれば、草刈りなど農業のお手伝いもします。利益は卒業生たちの自立するための支援に使っています。

これからの活動の夢は？

陶芸用の窯があるので、陶芸教室をやりたいと考えています。木工教室、音楽会、講演会、映画会なども開催し、地域の人たちとの交流の場にしたいと思っています。また、他地域からも大勢の方に来ていただき、一緒に活動し、人と人との接点の場になればと思っています。

卒業生たちと高齢者との交流はうまくいっているのです、将来的には障害者福祉だけでなく、高齢者福祉も含めた支援活動も考えています。

町に対する要望は？

私たちは、障がいがあっても普通に自立した生活ができることを目指していますが、活動資金がありません。費用支援をしていただきたいと思います。

## 議会傍聴記

3月議会は、1年の行政計画と予算が中心のはず。新規事業は、重点施策は、産業の振興策は、福祉対策は…。産業間の均衡、地域振興の均衡、年代間格差等の取り組みについて、質問してほしかった。時勢的な質問は、町民は関心がない。

町長が4年任期を5ヶ月残すこの時期、公約に対しての町長と議員それぞれの評価はどうなのかを町民は知りたい。残任期で通年予算を組む理由についても、議員は質問するだけでなく、自分の考えを言って施策の提案をしなければ、町民の代弁者ではない。

町財政を十分認識した上で、少ない財源を有効的に使うことを町民は願っている。何でも行政依存するだけでなく、自助・共助も必要。

議員は全町民の奉仕者で、一部の人の利益代表・代弁者ではないことを肝に銘じてほしい。

70代・男性

一般質問を傍聴したが、議員の皆さんの視野が狭いように感じる。もう少し多方面に目を向け、質問テーマを設定したらどうか。そして、テーマをしばらく内容を深く掘り下げ、答弁を求めてほしいと思う。

60代・男性

## 編集後記

今回は本誌の段組みを6段に変えてみました。新聞のように、1行は12文字程度が読みやすいと言われていたからです。いかがでしょうか。地方分権が進み議会の重要性が高まる反面、議会のわかりづらさ、不透明さを感じている方は多いのではないのでしょうか。それを解消するため、これまで多くの町民の皆様にご覧いただくため、これまでも多くの町民の皆様にご覧いただくため、これまで多くを目標してきました。編集委員の任期は2年のため、今のメンバーでの議会だよりは今号が最後になります。これから、議場での熱い議論で議会だよりを盛り上げていきます。

(佐久祐司)

〈富士見町議会へご意見をお寄せください〉

【No.128】平成25年4月15日発行

発行：富士見町議会／編集：議会広報編集委員会

委員長 佐久祐司 副委員長 平出隼仁

委員 小池勇 宮下伸悟

〒399-0292

長野県諏訪郡富士見町落合10777

TEL:0266-62-9403 / FAX:0266-62-9320

E-mail:gikai@town.fujimi.lg.jp

印刷 (有)富士見印刷